

7/17 制

安倍元首相の国葬 議論深めよ

無職

(埼玉県 94)

岸田文雄首相は、安倍晋三元首相を「」の秋に「国葬」をもつて送ると表明した。

待つてほしい。国民いわうて、その死を悼む行為が国葬ではないか。

だが、安倍元首相がその在任中に行つてきたことは、私たち国民の思ふ。だからと云つて、国葬するわざい、気持ちを分断に導いたものではなかつたか。多くの人々の疑念、憂慮があつたにもかかわらず、憲法などないかの「」とく、闇議決定で憲法解釈を変え、集団的自衛権を一部容認するなど、戦争するいふことを可能にする國を回復しておだとい私は想ひ、じでござる。

受けた。「機を見る金」の本意は

銃弾によつて奪われたいのぢを悼む。だからと云つて、国葬するわざい、税金をもつて當む国葬とする」とは、断じて認めることができるものではない。

秋までにはまだ時間がある。政府与党も、もちろん野党の面々も、国葬について改めてしっかり考え方、論